

# 令和6年度 事業報告

特定非営利活動法人あげお学童クラブの会

## 1 事業報告

2024年度も引き続き重点課題として上尾市、市議会、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力を得て各大規模学童の解消に向けて取り組みを進めてまいりました。

東小・東小第二学童保育所では夏休みの期間中に東小学校のご厚意により体育館や会議室をお借りして分散保育を実施することができました。

東町小学童保育所の分散先として、2025年度もひかわ幼稚園の空き教室をお借りできることとなりました。これまでの課題であった、上下水道の整備費は専門業者の見積で約900万円の費用が必要であることが判明したため当法人での工事は断念せざるを得ない結果となりました。その他の修繕等要望箇所についてはひかわ幼稚園や担当課と相談・調整をおこなってまいります。

中央小学童保育所は、2025年4月に第三学童保育所を開設し、同年夏頃には第四学童保育所も開設する予定です。第四学童保育所については、開設までの期間については、こどもの安全のため分散先を確保し対応しています。

今泉小学童保育所は、こどもの城のふれあいラウンジを学童の専有場所として利用することができるようになりました。

学童数が増えていることで必要に応じて職員の異動も発生し、経験年数が若い職員同士で組むことが多々あります。これは研修で得た知識をもとに現場で先輩職員から実践を通じて学ぶ機会が減ることにつながります。こうした問題は、充実した育成支援にとっては喫緊の課題と捉えています。

2025年度は人事部と育成支援部が担う研修をお互いの専門分野ごとに分けていくことにより、現場だけでは学べないことを補っていける体制を整えていきます。

NPO法人主催で代表者会議と懇談会を行いました。代表者会議では、法人の財政状況や大規模学童の実態の説明を行い、法人の課題を参加してくれた各保護者会の会長や保護者と共有しました。懇談会では、いくつかのグループに分かれて、保護者会の現状や課題を出し合い、解決に向けての議論を行いました。

また、各学童では職員から呼びかける形で保護者交流会を定期的に行い、普段のこどもたちの様子を伝えていく中で、保護者同士がつながるきっかけ作りを行いました。

子育て交流会は、特別支援保育委員会と連携し、特別支援児を育てる保護者だけでなく、発達に心配なこどもを育てる保護者にまで対象を広げ、1月25日に「にじいろ交流会」として実施しました。参加者からは、グループ交流で保護者OBから実体験の話や小学校を卒業した後の障害福祉制度についての話が聞けたことで、こどもを支援児対象として加配職員にサポートしてもらうことを前向きに考えるきっかけとなったという声が聞かれました。

こどもまつりは地域連携委員会が中心となり、実行委員会を発足して職員と保護者とで協力しながら準備を進めました。アリオ上尾から駐車場の一部をお借りすることもでき、11月3日にこどもの城公園で開催することができました。当日は天候に恵まれたこともあり、地域の方も多く来場され、大人もこどもも楽しい時間を過ごすことができました。

学童の事務実務を補助するシステム導入について、市内保育園等で採用されているシステムなどの提案を複数もらったが、当法人の規模や事務実務の実態に照らし合わせると1年間の費用が500万円以上となるため費用対効果が低いことから導入を断念しました。

市民のニーズである『待機児童0』を継続している結果、学童1か所あたりの児童数と市内の学童数が増えています。採用面では職員の確保が追い付かず、2人目の正規職員が埋まらないまま4月を迎える学童が8か所となりました。この状況は、補助金にも大きく関わることから財政基盤としても見過ごせない問題です。

また、各学童を巡回し現場職員の相談役となっていたマネジャーを2023年度は6名配置しておりましたが、2024年度は2人目の正規職員が欠員となる学童が複数発生したことから、6名全てのマネジャーを現場に配置したことで保育業務がメインとなり巡回業務がほぼできない結果となりました。これは学童保育所における育成支援全体の安定を考えると後退する形となってしまいました。

学童の大規模化に起因した課題は当法人だけで解決できるものではなく、委託元となる上尾市と窓口となる青少年課と一緒に考えて方策について引き続き話し合っていきます。

理事会で法人組織を見直し、これまでの育成支援部と総務部に加え、人事部を新しく設け、年々増えている職員の管理を専門で担えるようにしました。またそれらの3つの部を管理する法人運営本部を設けると共に職員も増やし、組織全体の管理方法を整理しました。

理事会や委員会など各種会議体の役割について、現在の規模や当法人を取り巻く環境を踏まえてより良い機能と効率よい運営を検討しましたが、法人運営の根幹に関わる部分のため慎重に議論を進めていったことから2024年度で結論は出さず2025年度も引き続き議論していくこととなりました。

## 2 事業の実施に関する事項（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業（放課後児童健全育成事業）としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業	上尾市内の学童保育所の開設と運営	通期	上尾市内50ヶ所	400名	市内小学校に通う児童 2,690名	928,074
子育て支援に関する講演会、講座及びイベントなどの企画運営事業	子育て支援をテーマにした催し物	11/3 こどもまつり	こどもの城公園	90名	市内小学生と保護者とその家族、近隣の市民等 1500名	235
子育て支援に関する書籍、雑誌等の販売事業	子育てに関する書籍・雑誌の販売	実施なし				0

**2024年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書**

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 あげお学童クラブの会 (第1号議案)  
(単位: 円)

科 目	金額		備考
<b>I 経常収益</b>			
1 会費・入会金収入			
1) 正会員会費	39,000		
賛助会員会費	21,000	60,000	
2 事業収入			
(1) 社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業(放課後児童健全育成事業)としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業収益			
1) 保育料収入	380,943,100		
2) 入所金収入	10,804,000		
3) 法人運営費	25,466,000		
4) 時間外等雑収入	3,938,900	421,152,000	
3 補助金等収入			
1) 事業委託料収入	655,105,961		
2) 市補助金(事業費補助金)	16,380,600	671,486,561	
4 寄附金収入	0	0	
5 その他収入			
退職給料引当金戻入	3,012,963		
雑収入	3,335,550	6,348,513	
経常収益計			1,099,047,074
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 社会福祉法第2条の第2種社会福祉事業(放課後児童健全育成事業)としての、上尾市内の学童保育所の開設・運営事業			
1) 人件費	740,228,934		
2) 保育費	75,967,138		
3) 学童保育事業運営費	101,045,532		
4) 退職金	10,833,174	928,074,778	
(2) 子育て支援に関する講演会、講座及びイベントなどの企画運営事業	235,400	235,400	
(3) 子育て支援に関する書籍、雑誌等の販売事業	0	0	
(4) その他、児童の育成支援に関わる事業	0	0	
2 管理費			
1) 人件費			
役員報酬	10,076,260		
職員給与、福利厚生他	62,047,071		
退職金	5,145,796		
2) 管理運営費	30,729,318	107,998,445	
3 予備費			
予備費	0	0	
4 基金積立金			
退職給料引当金繰入	1,380,384	1,380,384	
経常費用計			1,037,689,007
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計	0	0	0
<b>IV 経常外費用</b>			
1) 雑損失	40,360		
経常外費用計		40,360	40,360
当期正味財産増減額			61,317,707
前期繰越正味財産額			1,497,767
次期繰越正味財産額			62,815,474



## 2024年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2025年3月31日現在

特定非営利活動法人 あげお学童クラブの会 (第1号議案)  
(単位:円)

科 目	数 量	金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金 現金手元預かり高		1,384,918	
小口現金		0	
普通預金 埼玉りそな銀行上尾 西口支店		123,187,859	
普通預金 埼玉りそな銀行上尾 西口支店 (施設費)		9,825,094	
ゆうちょ銀行 振替口座		42,741,469	
ゆうちょ銀行 総合口座		7,160,132	
楽天銀行		3,904,492	
未収保育料・立替え金等	47クラブ分	5,885,152	
流動資産合計			194,089,116
2 固定資産			
建物		68,117,121	
車両運搬具		2	
什器備品		6,406,095	
敷金		5,950,670	
保証金 (民設民営学童保証金)		5,145,000	
出資金		5,000	
固定資産合計			85,623,888
資産合計 (A)			279,713,004
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
預り金		14,610,326	
仮受金		118,136,820	
短期借入金		82,770,000	
流動負債合計			215,517,146
2 固定負債			
退職給料引当金		1,380,384	
固定負債合計			1,380,384
負債合計 (B)			216,897,530
正味財産 (C)			62,815,474